令和６年度「障がい者雇用促進セミナー」開催

「障がい者雇用促進セミナー」開催

２月26日(水)、ライズヴィル都賀山において「障がい者雇用促進セミナー」が開催され、企業の担当者や支援機関、行政関係者など38名が参加した。

前回の障がい者雇用促進セミナー（10/16開催)の事後アンケートで、「意見交換の場が欲しい」という意見が複数あり、本セミナーでは、第３部に「障がい者雇用についての困りごと」というテーマで意見交換場の場を設定した。

第１部　養護学校における進路指導について

滋賀県立草津養護学校・進路指導部部長の夏原知之氏に「滋賀県下の養護学校の進路指導の実際」と題してご講演いただいた。

養護学校の進路指導について、基本的な流れや就労後の継続的な支援についての説明があった。学校での教育内容にも触れていただき、生徒の卒業後の支援について関係機関との連携についての説明もあった。

第２部　障がい者雇用の事例紹介

始めに、国立大学法人滋賀医科大学の人事課課長である浅井清美氏に「障がい者雇用の現状と雇用促進の課題～継続と挑戦 地域との連携を見据えて～」と題して、ご講演いただいた。

続いて「多久製作所の障がい者雇用への取り組み～Ikigai(生きがい)の探求 誰ひとり取り残さない職場づくりへの挑戦～」と題して、(株)多久製作所の取締役、生産本部 SDGs推進の菅野秀明氏と、生産本部購買企画部、部長の髙木大輔にご講演いただいた。

各校・各社から、業務の切り出し、社内研修や定着支援、養護学校・各機関との連携等について、実例を交えて詳しく紹介いただいた。参加者が障がい者雇用を促進していく上で、気づきの多い具体的な実践内容であった。

第３部　障がい者雇用についての困りごと

（意見交換会）

障がい者支援に関する専門的な資格をお持ちの方も含めて、５名前後のグループになり、上記の題材で意見交換会を行った。たいへん活発な意見交換が行われ、以下の内容が中心に挙がった。

- 採用や職場配置
- 業務の切り出しや仕事量の確保
- 職場理解と定着支援の在り方
- 雇用形態とキャリアアップ

第４部　障がい者雇用に関する企業への支援について

まず、働き・暮らしコトーセンターの雇用支援ワーカーである口分田 一樹 氏より「職場の環境調整や定着等のサポート」と題してご講演いただいた。

そして、滋賀労働局、地方障害者雇用担当官である金谷 真佐男氏から「障がい者雇用の流れ・利用できるサービスや支援策について」と題してご講演いただいた。

それぞれの機関から職場の環境調整や就労の定着等に関して利用できるサービスや支援体制について説明をしていただいた。

参加者のアンケートからは、多くの方から「満足」以上の回答をいただくことができた。事例紹介や制度の説明に加えて、意見交換会に対する前向きな感想をいただいた。多くの方とつながり・交流できる機会をセミナー等で継続していく所存である。

今後の課題は、雇用の定着についてである。障がい者の方の採用等ができても、社員の理解や支援体制の調整がされないと雇用が促進されない。次回以降のセミナーでは、雇用の定着に加え、障がい者の方のキャリアアップ、人材育成等の面も含めた内容の検討を行い、引き続き障がい者雇用の促進・共生社会の実現につながるように努めていきたい。